

■ さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン概要①

I 連携中枢都市圏の形成に向けて(本編:P2~P3)

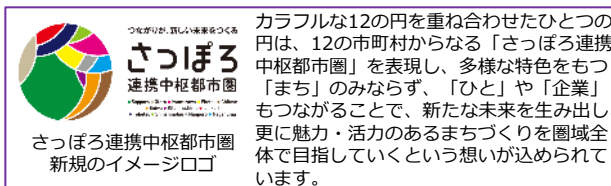
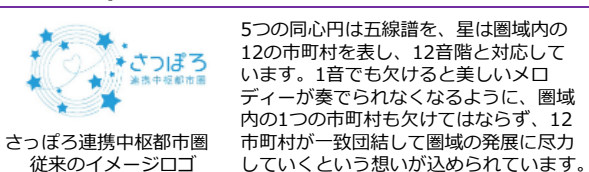
1 策定の趣旨

- 全国的な人口減少・少子高齢化。札幌市を含む8市3町1村からなる、この圏域においても2020年度以降の人口減少局面・高齢化率の急上昇の見込み
 - 圏域内の活力維持・魅力あるまちづくりのためには、さまざまな資源を活用した連携の強化や、行政のコスト削減や運営の効率化が必要
- 連携中枢都市圏形成に向け、関係市町村との協議を進め、連携中枢都市宣言を行った
- 本ビジョンは、中長期的な圏域の将来像を示すとともに、各市町村とその姿を共有しながら、将来像の実現に向けた具体的な取組を計画的に推進するために策定

2 連携中枢都市圏及び構成市町村の名称

- 連携中枢都市圏…さっぽろ連携中枢都市圏
- 構成市町村…札幌市(連携中枢都市)、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町

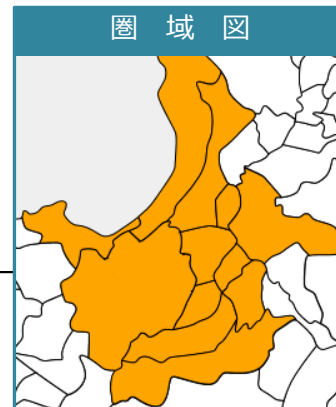
3 取組の期間…2019年4月1日~2024年3月31日



II-1 圏域の概況(本編:P3~P35)

- 地勢…面積約4,515km²(全道の約5%)。多くの河川や森林などの豊かな自然環境
- 構成市町村の概況

- 札幌市…道内行政機能の中心、各種イベントに全国の観光客
- 小樽市…年間800万人超の観光客、海と山に囲まれた自然
- 岩見沢市…ICT活用のスマート農業、米の作付け面積道内1位
- 江別市…大学や研究機関の集積、充実した子育て環境
- 千歳市…年間2,200万人超が利用する空港、道内一若いまち
- 恵庭市…花・読書・子育てのまち、製造品出荷額道内7位
- 北広島市…住みよさランキング5年連続道内1位
- 石狩市…石狩湾新港と700社の工業団地、再生可能エネルギー
- 当別町…都市と自然の共存、道内2位の産出額を誇る花き
- 新篠津村…最先端農業の実践、農業と自然を活かした観光
- 南幌町…生産性の高い農業展開、子育てしやすい住環境
- 長沼町…食の魅力、年間3,000名を受け入れる農業体験



- 人口…2015年には約260万人(全道の約48%)以後、減少傾向で2040年には約235万人 高齢化率も約26%→約39% 20代の人口流出が顕著

- 産業構造
 - ・ 圏域外収支が大きくマイナス
 - ・ 「食料品製造業」「農業」における強み
 - ・ 多様な観光地や観光施設における観光客増

- 高次都市機能の集積状況
 - ・ 大学等の高等教育機関・研究機関の集積
 - ・ 都市部に集中する医療施設
 - ・ 各種文化施設等、行政機関の集積
 - ・ 工業団地の集積、空港・港等交通の要衝
 - ・ 再生可能エネルギーの導入が活発

	人口		高齢化率		通勤通学割合
	2015年	2040年	2015年	2040年	
札幌市	1,952,356	1,870,991	24.9%	37.6%	—
小樽市	121,924	69,422	37.2%	49.6%	14.73%
岩見沢市	84,499	53,640	32.6%	47.4%	10.17%
江別市	120,636	92,706	27.1%	45.2%	39.07%
千歳市	95,648	92,345	20.9%	31.2%	6.36%
恵庭市	69,702	63,003	25.1%	37.9%	14.75%
北広島市	59,064	46,222	29.1%	43.4%	41.26%
石狩市	57,436	41,384	30.0%	45.7%	47.74%
当別町	17,278	10,007	30.3%	57.8%	38.12%
新篠津村	3,329	2,076	33.0%	45.2%	7.47%
南幌町	7,927	4,559	29.8%	61.6%	22.33%
長沼町	11,076	7,419	34.7%	51.3%	11.04%
合計	2,600,875	2,353,774	26.0%	38.7%	—

「平成27年国勢調査」「日本の地域別将来推計人口」より2040年はいずれも推計値

II-2, 3 圏域の中長期的な将来像等(本編:P36~P41)

「住みたくなる」「投資したくなる」、「選ばれる」さっぽろ圏域

- 圏域内の市町村が持つ魅力を掛け合わせた取組を行うことにより、圏域全体にヒト、モノ、カネ、コトを呼び込む
- それぞれの市町村の持つ都市機能や強みを活かした役割分担による、よりきめ細やかな住民サービスの提供や行政コストの削減
 - 北海道全体の活性化や、人口減少の緩和につなげる！！

将来像を実現するための三つの重点施策…下記Ⅲの体系とは別に、重点的に取り組む内容を位置づけ

【重点施策①：魅力・活力にあふれ、投資や人材を呼び込む圏域に】

- ◆ 圏域外からの資金の獲得、域内での資金の循環
- ◆ チャレンジできる風土の醸成、イノベーションを誘発しやすい環境づくり
- ◆ 圏域特有のインフラ等を活用した域外からの投資・人材獲得

【重点施策②：将来を担う人材が豊富な圏域に】

- ◆ 人口流出を食い止めるため、地域に愛着を抱く若者の育成や、経験を持った人材の呼び戻し

【重点施策③：住民の安全・安心が確保され、持続可能な行政サービスが提供できる圏域に】

- ◆ 大規模災害や、医療需要の増加等への対応
- ◆ 公共施設の相互利用の検討などによる、より効率的な行政運営

目標人口：2040年時点で圏域人口240万人以上を確保

- 3つの重点施策に紐づく各連携事業と「持続可能な開発目標(SDGs)」17のゴール(目標)を結びつけることで、より効果的な将来像の実現を目指す



Ⅲ 計画の体系(本編:P42~P43)

役割(※)	主な連携事業	事業数	【参考】2022年度事業費見込額
圏域全体の経済成長のけん引	企業誘致、創業の促進、新製品・新技術の開発、地域資源の活用、観光資源の活用など	11事業	1,384百万円
高次の都市機能の集積・強化	三次救急医療等の提供、札幌市都心部の再開発、ニーズに対応できる人材の育成、公共施設の相互利用や配置に関する検討など	6事業	3,848百万円
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	デジタル技術を活用した住民サービス向上に向けた取組、企業によるまちづくり活動の促進、人材育成・確保の取組、に関する検討など	39事業	1,294百万円
総計		56事業	6,525百万円

※ 「連携中枢都市圏構想推進要綱」(総務省)に示されている役割。以降、本ビジョンの取組の体系は、同要綱に示されている各役割に応じた取組に従って作成している。

■ さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン概要②

IV 連携協約に基づき推進する具体的取組(抜粋)(本編:P44~P75)

1 圏域全体の経済成長のけん引

- 基本KPI 圏域内民営事業所売上…27兆9千億円(2015)→30兆円(2023)
観光入込客数…37,076千人(2017)→44,000千人(2023)

主な連携事業	事業概要 ※()内は事業費見込額	連携事業実施状況等
連携した企業誘致の推進	道外企業を対象とした企業誘致動向調査や産業展示会の共同出展、企業立地補助の実施等(803百万円)	・産業展示会の共同出展:企業立地フェア(東京、5/18~20)に出展 ・札幌圏設備投資促進補助金:市外への企業立地補助の実施は1件(恵庭市)。今後補助適用予定として千歳市及び石狩市に立地する案件申請あり。
創業の促進	創業志望者向け講座の開講や、創業ムーブメントの創出のためのプロモーション、行政や道内企業とスタートアップ企業が連携した社会・企業課題の解決に取り組むプロジェクト、専門家による後継者不在により廃業を検討している中小企業者と創業希望者等のマッチングに関する取組等(129百万円)	・創業志望者向け講座を全5回実施 ・連携中枢都市圏全体または各市町村が抱える行政・地域課題をスタートアップ企業との協業により解決するプロジェクト「Local Innovation ChallengeHOKKAIDO」を実施 ・ポータルサイトを活用した事業承継のマッチング支援を行い、計17件の新規案件を掲載し、4件の事業承継が成立
新製品・新技術の開発のための支援	「食」「健康医療」「環境(エネルギー)」「IT」「製造」の分野を対象とした新製品、新技術開発等に対する補助等(82百万円)	連携市町村への補助実施状況 ・環境(エネルギー)技術・製品開発支援事業:千歳市1件 ・小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業:恵庭市1件
共同プロモーションや観光資源の活用等の推進	観光振興に関する取組の企画・立案、戦略的な共同プロモーション事業等の実施等(14百万円)	・台湾・香港市場をターゲットとした情報発信 ・圏域内を周遊する着地型旅行商品を造成し、販売

2 高次の都市機能の集積・強化

- 基本KPI 札幌駅(※)の乗車人員数…189,932人/日(2017)→増加(2023)

※ JR札幌駅及び地下鉄さっぽろ駅(南北線・東豊線)

主な連携事業	事業概要 ※()内は事業費見込額	連携事業実施状況等
三次救急医療等の提供	市立札幌病院による三次救急や高度な周産期医療等の提供(2,899百万円)	市立札幌病院の運営を通じて、三次救急医療等を提供
公共施設の相互利用や配置に関する検討	札幌市における斎場等のあり方についての調査研究や斎場の広域利用に関する協議・検討、公共施設の相互利用や機能集約化・配置等に関する調査研究・協議等(48百万円)	・火葬場の広域利用に関する全体会議のほか、北広島市・石狩市との個別会議を実施 ・圏域内の公共施設を把握するための調査を実施中
丘珠空港の利用促進	丘珠空港の利用促進に向けた丘珠空港路線やアクセス等の空港関連情報の周知活動等(7百万円)	イベントの実施等による丘珠空港関連情報の周知活動の実施、機材更新や運航期間の拡大等。令和4年度の旅客数は、30万人を超えた。

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- 基本KPI 20~29歳人口における道外への社会増減数…▲2,805人(2017)→▲1,400人(2023)

主な連携事業	事業概要 ※()内は事業費見込額	連携事業実施状況等
文化的な教育活動の充実に向けた取組の推進	小学校6年生に対する札幌コンサートホールKitaraでのオーケストラ演奏やオルガン演奏の鑑賞機会の提供(27百万円)	6日間11公演を実施し、244校が参加(札幌市:210校、連携市町村:34校)
公立夜間中学の共同活用	さまざまな理由により「学び直し」を希望する方を対象とした公立夜間中学の共同活用(30百万円)	連携市町村からの入学者数 小樽市 1名、江別市 2名 千歳市 1名、恵庭市 3名 北広島市 2名
消防の連携・協力の推進	消防救急無線の共同整備、次期更新等に向けた検討や消防指令業務の共同整備等の検討、実火災訓練装置の整備・運用等(105百万円)	・消防救急無線の共同での維持管理の実施 ・指令共同運用に係る計画書等の改正 ・合同研修の実施
圏域外からの移住促進	道外における移住イベントの開催や情報発信等(7百万円)	R5.1.14に北海道さっぽろ圏移住フェア開催(東京)。その他、個別相談も電話等により実施
企業によるまちづくり活動の促進	さっぽろ連携中枢都市圏「まちづくりパートナー協定」締結企業との連携した取組の実施(7百万円)	・R3.10月新たに1協定(1社)を加え、13協定(17社)と包括連携協定を締結 ・パートナー企業と連携した取組の企画・調整等を実施
さっぽろ圏人材育成・確保基金の造成	企業版ふるさと納税制度の活用等による、圏域における人材の育成・確保を図るための基金の造成(20百万円)	個人からの寄附 3,595件(66百万) 企業等からの寄附 4件(4百万円)
鳥獣対策等に関する取組の推進	ヒグマその他鳥獣対策に関する広域的な取組の実施(-)	・職員向けヒグマ及びエゾシカ研修実施(5月) ・札幌市で小中学校向けに実施しているヒグマ講座を江別市内の小中学校で実施(7月)

V 計画の推進体制(本編:P76~78)

